

地域主導の産業づくりに対する支援手法の確立

背景

過疎地域の存続を図るには、地域主導の産業づくりを支援する手法が必要。これまでに確立した支援手法（右図）の活用、展開が課題。

成果

1 コミュニティビジネス起業支援手法の活用ノウハウを蓄積

< 下川町：支援手法の活用で実現した住民起業事例 >



アロマテラピー
+新サービス
検討中



宿泊施設&
ツアーガイド
+メニュー追加
検討中



ケータリング+古着店



映画上映サービス



クラフト
ビール館
(秋開業)

繁盛しています

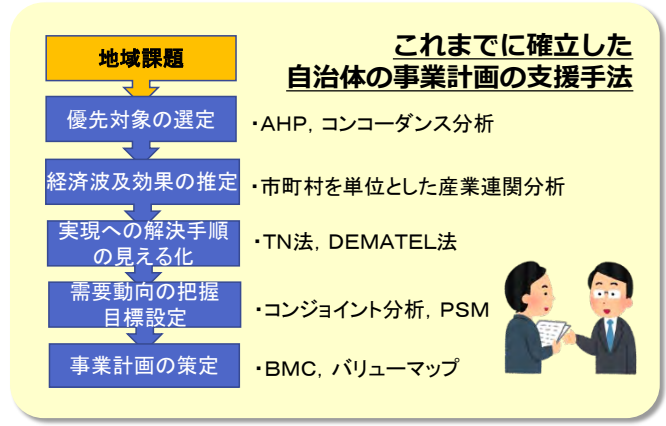
R4年度までに5事例が起業

実際の支援を通じて、段階に応じた課題と解決手順を明らかにし、成功事例づくりに貢献 → 今後、マニュアル化

期待される効果

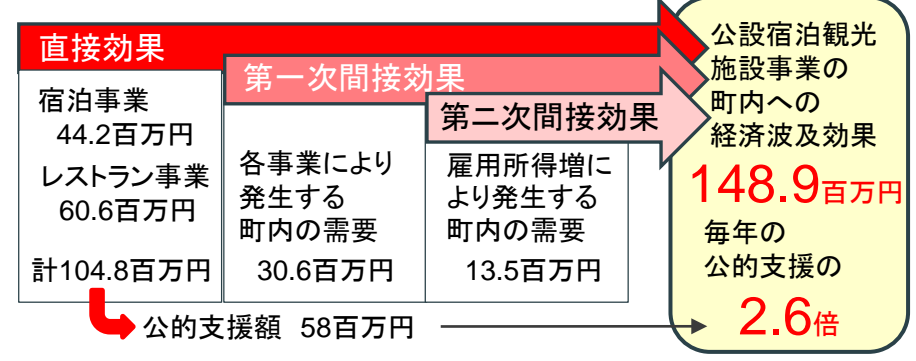
地域住民や自治体に活用されることで、地域主導の産業づくりが促進され、持続可能な地域社会の実現に寄与する。

共同研究機関：北方建築総合研究所、十勝農業試験場、中央農業試験場、林業試験場、工業試験場、エネルギー・環境・地質研究所、北海道大学、北海道科学大学（協力機関：北海道総合政策部、北海道運輸局、北海道開発局、富良野市、下川町、喜茂別町、芽室町 等）



2 市町村事業の効果を評価する手法を確立

< 公設の宿泊観光施設事業の波及効果検証事例 >



市町村単位での経済波及効果、投資効果の定量的評価が可能に → 今後、農業改良普及センターの高付加価値化支援業務でも活用